

第3回世界弓道大会[東京] 実施要項

1. 目的 弓道の国際的な普及振興の一環として弓道大会を開催し、競技力の向上、世界各国の弓道愛好家相互の親睦・交流を図る。
2. 主催 国際弓道連盟
3. 共催 公益財団法人全日本弓道連盟
4. 後援 外務省・スポーツ庁・公益財団法人日本体育協会
(申請予定) 公益財団法人日本オリンピック委員会 [JOC]・東京都・公益財団法人日本武道館
日本放送協会・読売新聞社・報知新聞社・明治神宮
5. 主管 第3回世界弓道大会[東京]実行委員会 (東京都弓道連盟)
6. 期日 平成30年4月23日(月)～25日(水)
7. 会場 全日本弓道連盟中央道場/明治神宮武道場至誠館弓道場
〒151-8557 日本国東京都渋谷区代々木神園町1-1
国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 日本国東京都渋谷区代々木神園町3-1
8. 競技種目 近的競技
9. 競技種類 団体競技・個人競技
10. 競技種別 団体競技：国際弓道連盟加盟団体対抗戦
個人競技：称号者の部・有段者の部（無段含む）
※日本国内選手の有段者の部の参加は、初段以上
11. 競技内容 的中制（坐射・直径36cm霰的）
12. 適用規則 全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに本実施要項による。
13. 競技日程

4月23日	16:00～ 参加団体代表者会議 18:00～ 開会式 ※開会式への出席は希望制とする。 19:00～ レセプションパーティー	国立 オリンピック 記念青少年 総合センター
4月24日	9:30～ 団体競技 予選 団体競技 決勝トーナメント抽選会 個人競技（有段者の部）予選 個人競技（有段者の部）決勝 個人競技（有段者の部）表彰式	中央道場 至誠館弓道場
4月25日	9:30～ 個人競技（称号者の部）予選 個人競技（称号者の部）決勝 団体競技 決勝トーナメント 競技終了後 閉会式	中央道場 至誠館弓道場

14. 競技方法

(1) 団体競技

①予選

1チーム24射（各自4射2回）にて的中数の上位8チームを決勝トーナメント進出とする。決勝トーナメント進出の為の同中競射は、1チーム3射（各自1射）にて、総的中数の多いチームを上位とする。1回の同中競射で順位が決らない場合は、順位が決定するまで繰り返す。

②決勝トーナメント

1チーム12射（各自4射1回）のトーナメント法で行う。
同中の場合は、一本競射（各自1射）を行い、総的中数の多い方を上位とする。
1回の競射で順位が決らない場合は、順位が決定するまで繰り返す。

(2) 個人競技

①予選

各自4射を1回行い、3中以上の的中者を決勝進出とする。

②決勝

射詰競射にて順位を決定する。射詰競射の3本目以降は、直径24cm星的を使用する。的中を逸した同位者は、直径36cm霰的を使用し遠近競射を行う。ただし、最上位者を決定する場合は、射詰競射を継続する。

15. 競技における注意事項

(1) 団体競技

- ①選手登録 監督1名、選手3名、補欠1名以内とする。
選手の立順（行射の順番）は参加申込時の登録順とする。
- ②射場区分 予選は3人立3射場、決勝トーナメントは3人立2射場で行う。
- ③制限時間 予選、決勝トーナメント共に、1立7分30秒以内とする。
 - ・制限時間の計時は、進行委員の「始め」の合図により開始する。
 - ・制限時間30秒前に予鈴（1音）、制限時間超過時に本鈴（2音）で合図する。
本鈴と同時に射離した矢は無効とする。
制限時間超過後に射離した矢は無効、残った矢は失権とする。
自団体内に起因する事故（弦切れ処理など）の場合は、制限時間内で行う。
 - ・同中競射については、制限時間はない。
- ④その他 予選の立順は、主管団体が抽選により決定する。
選手は四つ矢の他、替矢2本を準備すること。
同中競射は、替矢から行う。

(1) 個人競技

- ①選手登録 選手1名とする。
- ②射場区分 予選、決勝共に、3人立で行う。
- ③制限時間 制限時間はない。但し、弦音打起しを厳守すること。
- ④その他 予選の立順は、主管団体が抽選により決定する。
選手は四つ矢の他、替矢2本を準備すること。

16. 表彰

(1) 団体競技

- 1) 優勝チームに本連盟よりカップ、賞状及びメダルを授与する。
- 2) 2位・3位のチームに本連盟より賞状及びメダルを授与する。

(2) 個人競技

- 1) 優勝者に本連盟より賞状及びメダルを授与する。
- 2) 2位・3位の選手に本連盟より賞状及びメダルを授与する。

17. 参加資格

- (1) 全日本弓道連盟の審査管理システムに登録されていること。（会員IDを保有すること）
なお、2018年度（平成30年度）度も登録をすることを条件とする。
- (2) 団体競技の参加は、国際弓道連盟の加盟団体とし、各1チームとする。
団体競技の選手（補欠含）及び監督は、各団体が選抜し、代表選手、監督として
認証を受けた者であること。
- (3) 個人競技は、加盟、未加盟を問わない。
国際弓道連盟が認める団体の代表が認証した者であること。
※申込み者が多数の場合、日本参加選手については抽選を行う場合もある。
- (4) 選手、監督の選出方法については、国際弓道連盟が認める各団体に一任する。

18. 参加料

団体競技 1団体 30,000円
個人競技 1名 10,000円

19. 申込方法

所定の申込書(エクセルファイル)に必要事項を入力し、国際弓道連盟が認める団体を経由し、
ikyf@kyudo.jpへ電子メールで送信すること。

20. 問合せ先

国際弓道連盟 世界弓道大会係
TEL: 03-3481-2387
メール: ikyf@kyudo.jp

21. 締切日

平成30年2月23日（金）厳守

22. 宿泊

各自で手配すること。

23. 昼食

各自で手配すること。

24. 注意事項

- (1) 大会参加にあたり、後日各団体経由で配布の「大会出場の手引き」を確認すること。
- (2) 選手の服装は、弓道衣[白筒袖、袴（黒袴を基本とし紺も認める）および白足袋]とする。
- (3) 監督の服装は大会の品位を損なわないものとする。
- (4) 弓具、服装について第3控で点検を行う。違反箇所が修正されなければ失権とする。
- (5) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入する。

25. その他 申込書の提出により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。
- (1) 大会プログラムならびに関係書類への記載（氏名、所属団体、称号、段位）
 - (2) 大会結果報告として、加盟団体会長宛文書及び月刊『弓道』・ホームページへの掲載（氏名、所属団体、称号、段位、写真、動画）
 - (3) 本連盟広報活動として使用される各種メディア（出版社・テレビ局等）への提供（氏名、所属団体、称号、段位、写真、動画）
 - (4) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。

【重要】日本国内選手の参加申込みについて

本大会の個人競技には、国際弓道連盟加盟各国から多数の参加が見込まれます。日本国内の参加者の申込みにあたっては、大会の安全・円滑な運営のため、以下により取り計らいます。

- (1) 有段者の部、称号受有者の部ともオープン参加とします。
ただし有段者の部は初段以上とします。
- (2) 参加は一般、大学生、高校生、中学生のいずれの区分も制限を設けません。
- (3) 日本国内の参加申込が多数の場合は、以下により絞り込みを行います。
 - ① 申込者多数の場合は、切後、抽選により参加者を決定します。
※抽選結果は3月中旬、地連事務局宛にメールで通知します。
 - ② 代表選手選考会に出場した選手が参加を申込み場合は、抽選によらず優先的に出場できることとします。
- (4) 参加申込みは、所属する都道府県弓道連盟弓道連盟(地連)へ申請してください。
個人会員から本連盟に直接申し込みをすることはできません。
※必ず地連が取り纏めて行うこと。
- (5) 参加選手は、万が一の怪我・疾病に備え、健康保険証を携行してください。